

## 令和5年度第2回碧南市総合教育会議 会議録

1 日時 令和6年2月8日(木) 午前8時45分から午前9時38分まで

2 場所 碧南市役所 5階 教育委員会室

3 出席者

(1) 碧南市長 瀬戸田 政信

(2) 教育委員会

委員 岡本 明弘、委員 伊藤 正幸、委員 大村 幸、委員 榊原 京子、  
教育長 生田 弘幸

(3) 事務局職員

総務部長 山本 政裕、教育部長 岡崎 康浩、経営企画課長 杉浦 英樹、  
経営企画課主幹 松野 盛高、学校教育課長 小島 広明、  
経営企画課政策推進係長 杉浦 宏和、庶務課庶務係主査 長崎 裕司

4 傍聴者 0人

5 議題

(1) 第2期教育大綱の中間見直しについて

(2) 意見交換

6 会議の概要

(1) 市長あいさつ

碧南市の教育行政にご支援、ご協力いただきありがとうございます。おかげさまで相対的にも非常にうまくいっていると思います。

教育長は不登校を無くすという信念があり、今後は重点的に取り組まれると聞いています。今のところ碧南市の教育は、とても落ち着いており、色々な数字でも結果が出ております。

今後も皆さまのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

(2) 議題

ア 第2期教育大綱の中間見直しについて

経営企画課主幹が資料に基づき説明した。

〈意見・質疑なし〉

審議の結果、承認された。

イ 意見交換

〈意見・質疑〉

委員 子どもと保護者の気持ちに向き合い、きめ細やかに対応されていて、碧南市の学校は落ち着いてきたと感じます。教育委員になった当初は、学校のイメージは荒れていたというか、昔は本当に大変でした。それと比べたら今の学校は見違えて良くなっています。

少子化が進んで、子どもの意欲が少なくなっている憂いはありますが、問題点があれば対策して、常に対応を積み重ねています。碧南市はよい教育ができていると思います。

委員 碧南市の教育は安定していると思います。

ただ、学校の働き方改革には少し問題があると思います。もっと子どもに接する時間を作るために、色々なことをやるべきです。民間なら事務を支援する人を正規ではなく、サブ的に何人か入れると思います。

先生の時間に余裕ができて、子どもに接する時間が増えれば、不登校の問題等に対応できると思います。それには市の援助が必要だと思いますので、よろしくお願いします。

教育長 碧南市ではスクールアシスタントを増やして教員の負担をカバーしています。民間賃金は上がっていますが、アシスタントは子どもの世話が好きな人にやっていただけており、質は向上しています。アシスタントの多くは、扶養範囲内とするため、勤務時間を減らして働いていることが問題です。

委員 先生は忙しいと思います。民間では労働時間がはっきりしていません。正規とサブで色分けして正規は正規の仕事ができます。先生も正規の仕事ができれば、子どもをもっと違う目線で見ることができると思います。

民間は賃金が上がっており、教育の方でも上がってこない民間との格差が出てしまうことが心配です。

教育部長 雑務的な部分はスクールヘルパーを派遣していますので、先生の負担は、少しずつ改善されてきていると思います。

委員 私の子どもが小学校と中学校にいますが、子ども達が落ち着いて、

楽しそうに授業を受けている様子を見て、いつも嬉しく思っています。先生と子どもの関係も良く見えますし、話や相談ができていますと感じます。

ただ、クラスに何人か不登校の子どもがいるという話を聞いています。心の教室相談員の授業の予算をつけていただいて、相談員を増やしていただきました。

また、不登校対策として学校支援員を増やすと聞いているので、少しでも不登校の子が減っていけば良いと思っています。

保護者も不安で悩みがたくさんあると思います。保護者の話もたくさん聞いていただきたいと思っています。

教 育 長 全国的に不登校の子の人数増加が加速しています。学者や医者が話すような「学校だけが教育の場ではない」「学校はいらない」「家にいればいい」等の考え方が浸透したら、義務教育が完全に崩壊します。そういう状態になってはいけません。

学校は勉強だけでなくコミュニケーションの場です。ちょっとした摩擦や、いじめという言葉はいけませんが、そういったことも乗り越えて大人になっていかないとはいけません。家にいるだけではそうはなれません。だから、学校は絶対に必要という信念に基づいて、不登校を無くしたい思いがあります。

何十年も克服できていない不登校問題を、学校支援員を増やして成果を上げて、碧南市をモデルとできるくらいの地域発信ができればという思いで取り組みます。

委 員 昔は学校が荒れていたという話を家族から聞いたりしますが、子どもは中学生ですが、とても穏やかな印象です。授業参観や学校訪問に行っても、まじめな子ども達の雰囲気を見ることができますし、友達関係を見てもいい子が多いという印象を受けます。

ただ、ときどき学校に来てない子がいるよという話を子どもから聞いたりするので、クラスに一人くらいはそういう子がいるのかなという印象があります。それが何か理由があったというよりも、急に来なくなってしまった子がいるのかなという気がします。昔は態度

で発散していたのが、内に秘めるようになって急にもうダメかもって学校にいかなくなってしまうような、我慢した結果だとしたら可哀想だと思います。

碧南市は不登校対策に力を入れているので、子どもがより穏やかに学校生活を過ごしていければと思います。

教 育 長 家庭の問題を抱えている不登校の子どももいます。そういう家庭は子どものケアと共に親のケアが大切だと感じています。

経験豊富な元教員が4名、こども課で相談員をしています。こども課と連携して、相談員を増やして、家庭の支援ができれば不登校を減らせると思います。

市 長 碧南市の中学校の不登校数は他市と比べて少ないですよ。

教 育 長 他市の半分くらいです。

市 長 不登校がゼロになるように頑張ってもらいたいです。

教 育 長 碧南市では外国人が増加しています。外国人の多くは碧南市の鋳物製造業等で働いており、外国人の増加は、商工業界にとっても無視できません。

教育分野では、日本語初期指導教室のいっぽ教室を開いていますが、外国人の増加に伴い、外国人アシスタントを増やすことが重要です。

ある程度は民間学校を希望する外国人の子どもがいるため、民間外国人学校との連携が重要です。

(午前9時38分 閉会)